

日米投信概況

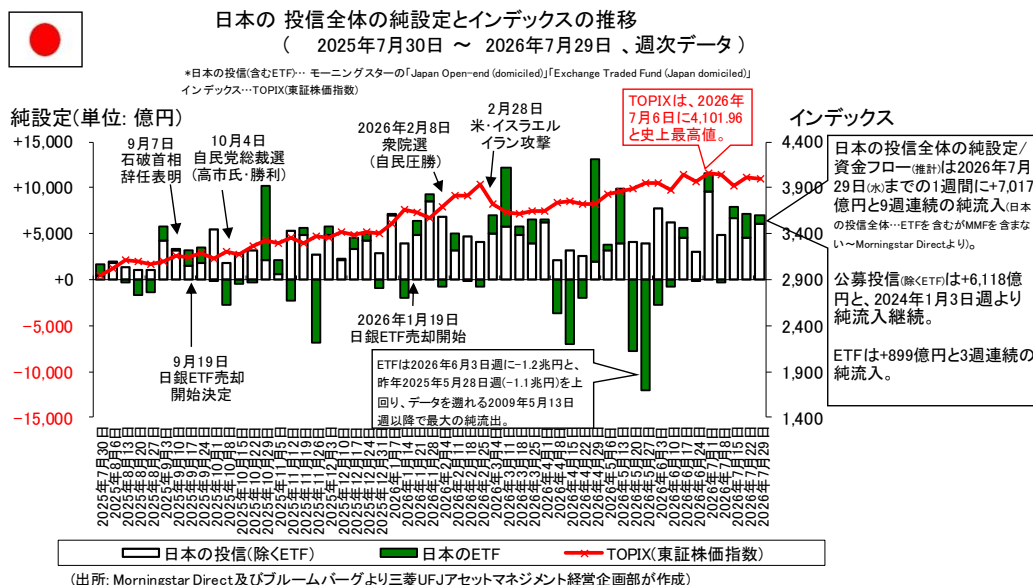
日本株を買う外国人投資家～世界のファンド投資家の日本株投資動向： 米欧のグローバルETFや米国の日本株ETFが買い、日本の日本株ETFが売る～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (シニアリサーチアナリスト)
窪田真美 (シニアリサーチアナリスト)

- 日本の投信が9週連続純流入の中、インド株ファンドと海外REITファンドは純流出！……………p.1
- 米国の投信が5週連続純流入の中、インド株ファンド純流出、日本株ファンド純流入!!
～世界のファンド投資家の日本株投資動向: 米欧のグローバルETFや米国の日本株ETFが日本株を買い、
日本の日本株ETFが日本株を売る～……………p.3

●日本の投信が9週連続純流入の中、インド株ファンドと海外REITファンドは純流出！

日本籍投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年7月29日(水)までの1週間に+7,017億円と9週連続の純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Direct)。公募投信(除くETF)は+6,118億円と、2024年1月3日週より純流入継続。ETFは+899億円と3週連続の純流入。



公募投信(除くETF)の2026年7月29日週の純設定額+6,118億円について分類別に見る。

純流入1～3位はグローバル株、グローバル株-日本を除く、米国株。

純流出1～3位は、インド株、グローバルREIT、米国REIT(日本REITは純流入)。

インド株/India Equityは2026年4月8日週から週次連続純流出だが、2025年7月23日週から純流出傾向にある(純流入は2026年1月7日と2026年4月1日の2回だけ)。2026年7月29日に米国中央軍がイランに大規模な攻撃を行ったと発表したことにより、原油価格が高止まっていることなどが要因と考えられる(インドは原油輸入国で原油高はインド経済停滞要因、2026年7月21日付投信調査レポートNo.460「日本でイ

ンド株ファンドがゴールド等コモディティファンドと共に大きな純流出！ 米国では米国株やセクター株が流出に転じる一方、外国株とオルタナティブの純流入が加速傾向に～ https://www.amuf.co.jp/report/investigate/report_260721.pdf)

●米国の投信が5週連続純流入の中、インド株ファンド純流出、日本株ファンド純流入!! ～世界のファンド投資家の日本株投資動向: 米欧のグローバルETFや 米国の日本株ETFが日本株を買い、日本の日本株ETFが日本株を売る～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年7月29日までの1週間に+364億ドル/約5.7兆円と5週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-104億ドル/約1.6兆円と25週連続の純流出。一方、ETFは+468億ドル/約7.3兆円と5週連続の純流入(継続的なミューチュアルフ

ンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ <https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/column/331127.pdf>)o

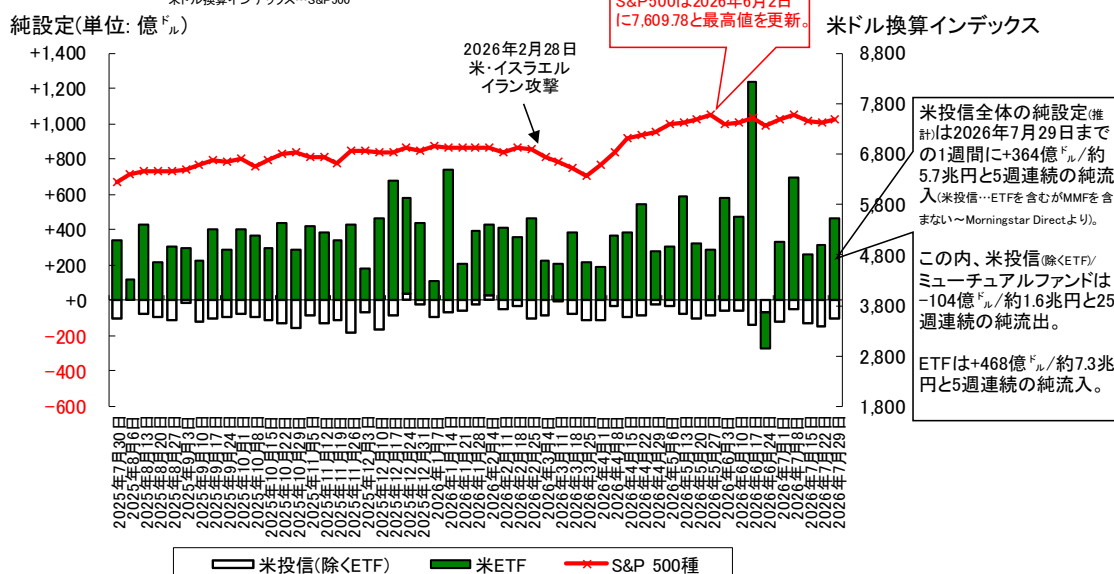


米国の 投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2025年7月30日 ～ 2026年7月29日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…

モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2026年7月29日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1～3位は米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国大型グロース株、米国テクノロジー株。

純流出1～3位は、社債、トレーディングインバース株式(ベア型)、エネルギー株(非MLP)。

日本で純流出が続くインド株/India Equityは米国でも純流出。 2026年7月29日週の-5億ドルは2026年4月8日週以来の大きな純流出となっている(←2026年7月22日週-0.7億ドル)。日本の所で述べた通り、2026年7月29日に米国中央軍がイランに大規模な攻撃を行ったと発表したことにより、原油価格が高止まっていることなどが要因と考えられる(インドは原油純輸

入国で原油高はインド経済停滞要因、2026年7月21日付投信調査レポートNo.460「日本でインド株ファンドがゴールド等コモディティファンドと共に大きな純流出! 米国では米国株やセクター株が流出に転じる一方、外国株とオルタナティブの純流入が

加速傾向!!」～ <https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report/260721.pdf>)o

日本株は2026年7月29日週に+4億ドルと2026年6月17日週以来の大きな純流入だ(←2026年7月22日週-0.8億ドル)。東証が2026年7月30日に発表した7月第4週(7月21日～7月24日)の投資部門別売買動向(現物)によると、海外投資家が3,514億円の買い越しと2週ぶり買い越しとなった(日本取引所グループ「投資部門別株式売買状況東証プライム[金額]全51社」～ <https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/investor-type/>、https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/investor-type/113tr00000104d5-ati/stock_val_1_260704.pdf)o

https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/investor-type/113tr00000104d5-ati/stock_val_1_260704.pdf)o



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2026-07-29現在

***ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	Large Blend	+9,110	+4,957	+29,962	5,930,165	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Large Growth	+5,830	-5,749	-844	2,191,312	米国大型グロース株
3	Technology	+5,496	+967	+17,672	661,509	米国テクノロジー株
4	Ultrashort Bond	+2,383	+2,487	+13,964	524,190	米国超短期債
5	Trading--Leveraged Equity	+2,320	+1,590	+7,528	133,712	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
6	Financial	+1,877	+1,365	+3,999	111,075	金融株
7	Muni National Interm	+1,863	-8	+3,555	290,103	米国全米地方債
8	Derivative Income	+1,448	+2,064	+6,010	195,292	デリバティブ・インカム
9	Foreign Large Blend	+1,322	+733	+5,195	1,607,190	外国大型ブレンド株
10	Focused Region	+1,202	+2,134	+5,064	92,684	地域・フォーカス
25	Japan Stock	+396	-84	+624	54,937	日本株
112	Emerging Markets Bond	-413	+116	+189	59,503	グローバル・エマージング債米ドル建て
113	Small Growth	-450	-174	-733	198,477	米国小型グロース株
114	Foreign Large Growth	-462	-83	-1,957	221,890	外国株大型グロース株
115	High Yield Muni	-487	-14	-309	131,620	米国ハイイールド地方債
116	India Equity	-507	-68	-551	13,869	インド株
117	Mid-Cap Growth	-641	-1,472	-3,798	301,132	米国中型グロース株
118	High Yield Bond	-691	+509	-496	302,019	米国ハイイールド債
119	Equity Energy	-807	+391	-533	69,805	エネルギー株(非MLP)
120	Trading--Inverse Equity	-1,307	+379	-1,875	11,877	トレーディングインバース株式(ベア型)
121	Corporate Bond	-1,348	+165	+763	208,947	社債
全121分類の合計		+36,406	+16,084	+130,067	24,279,177	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-1.47	-1.34	-0.93		
S&P500		-2.43	-0.96	-2.18		
MSCI ワールド		-1.90	-0.81	-1.39		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

インド株が2026年4月8日週以来の大きな純流出となる一方、日本株は2026年6月17日週以来の大きな純流入となっている。そこで本レポートでは、日本株ファンドのみならず、日本株に投資するグローバル株ファンドなども含めたファンド全般を対象とし、日米だけでなく、世界のファンド投資家による日本株投資動向を過去20年間にわたり見る(下記※1参照)。

※1: 世界のファンド投資家の日本株投資動向…



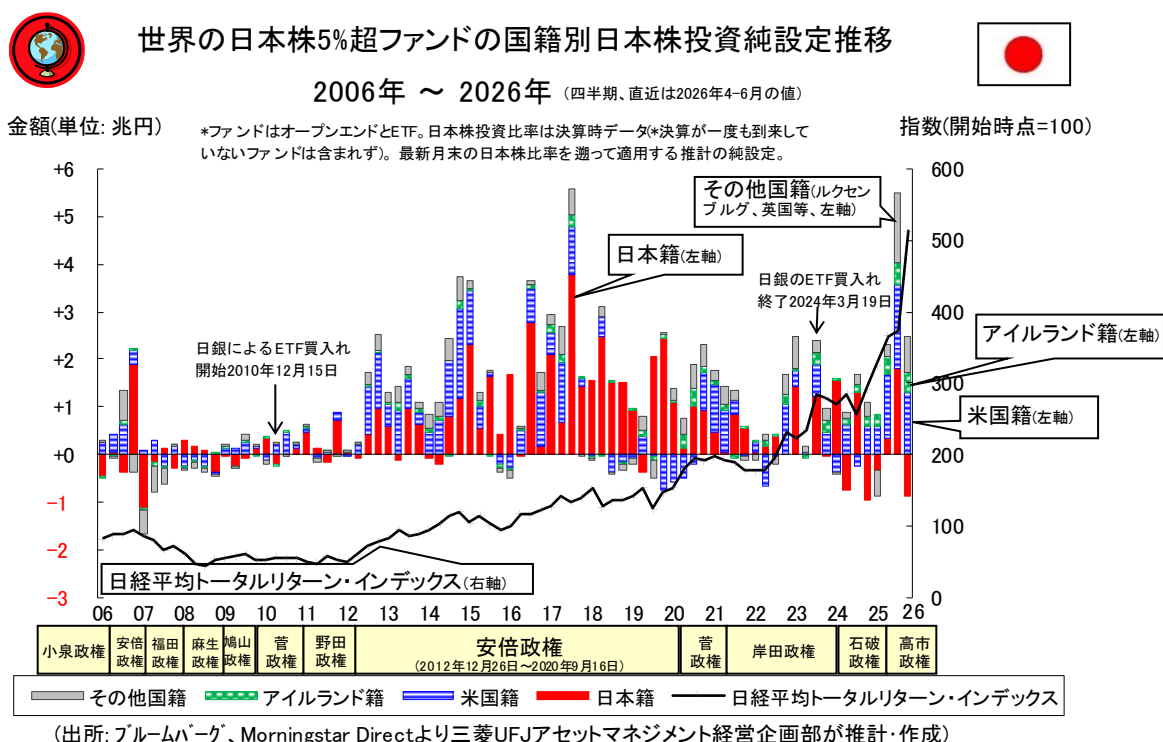
世界の日本株ファンド(*基本的に日本株のみに投資をするファンド)を見るのが簡易であるが、ファンド数が少ない。さらに、米最大の投信会社バンガード・グループ(2026年6月末の純資産11兆220億ドル/約1,792兆円)が運用する海外株ミューチュアルファンド「Vanguard Total International Stock Index Fund」の投資動向などが含まれないという問題もある(米投信…ETFを含むがMMFを含まないもの、以下同じ)。

この「Vanguard Total International Stock Index Fund」は2026年6月末の純資産が6,503億ドル/約106兆円(*米投信6位)。「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス(除く米国)/FTSE Global All Cap ex US Index」に連動するインデックス・ファンドで、2026年6月末の日本株比率は**15.34%**

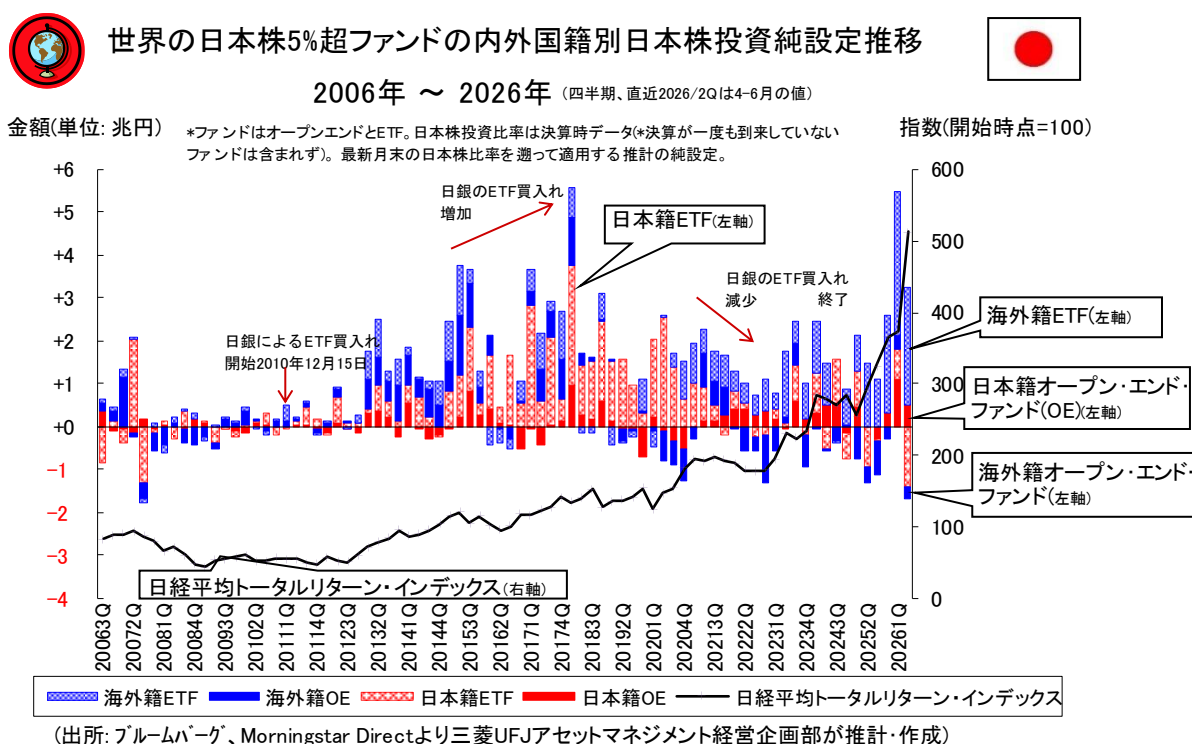
(<http://www.ftse.com/Analytics/FactSheets/Home/DownloadSingleIssue?issueName=GXUSS>)。

「Vanguard Total International Stock Index Fund」の純資産のうち日本株部分だけで約16兆円にもなり、これが日本株ファンドには含まれず、世界のファンド投資家による日本株投資の実態を正確に反映しているとは言えない。そこで、日本株投資、日本株を5%超組み込んだ世界のファンド全部について日本株投資比率(直近分)を入手、それを各々のファンドの純設定に掛け合わせ、日本株への投資流入額(純設定)とみなして推計する。出来る限りカバーを拡げてみるべく全世界の公募投信を対象にしている。

世界の日本株5%超ファンドの日本株投資純設定は、最新2026年4-6月に+1.6兆円と3四半期連続の純流入。
国籍別では米国籍が大きく、5四半期連続の純流入。 次いでアイルランド籍が10四半期連続の純流入。**日本籍は2026年1-3月に+1.8兆円と2020年4-6月以来の大きな流入超となったが、最新4-6月は3四半期ぶり純流出。**



世界の日本株5%超ファンドの**内外国籍(ETF・OE)**別日本株投資純設定で見ると、**海外籍ETFが2026年4-6月に約3.3兆円と7四半期連続の純流入、日本籍ETFが2026年4-6月に-1.4兆円と2007年7-9月を超える純流出。**



世界の日本株5%超ファンドの投資地域別日本株投資純設定で見ると、グローバル投資が2026年4-6月に+1.9兆円と14四半期連続の純流入、日本投資が2026年4-6月に-0.4兆円と3四半期ぶりの純流出。



世界の日本株5%超ファンドの投資地域別日本株投資純設定推移

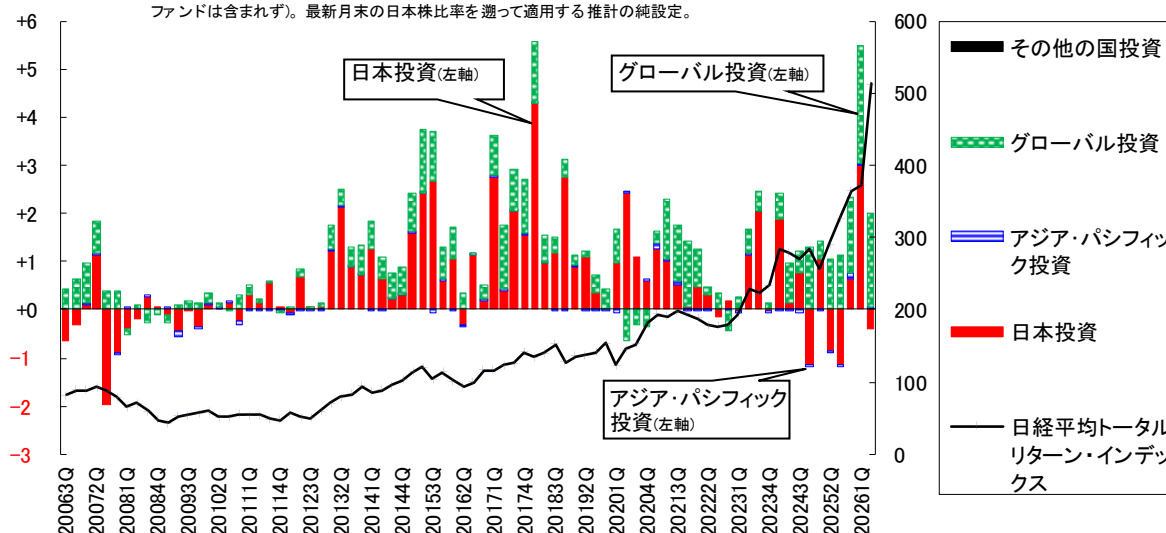


2006年～2026年（四半期、直近2026/2Qは4-6月の値）

金額(単位: 兆円)

*ファンドはオープンエンドとETF。日本株投資比率は決算時データ(*決算が一度も到来していないファンドは含まれず)。最新月末の日本株比率を遡って適用する推計の純設定。

指数(開始時点=100)



(出所: プルームバーク、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

なお、米国籍ファンドの投資国・地域別の日本株投資純設定で見ると、米国籍のグローバル投資も、米国籍の日本投資も純流入が続いている。



世界の日本株5%超ファンドの内、米国籍ファンドの投資国・地域別純設定推移

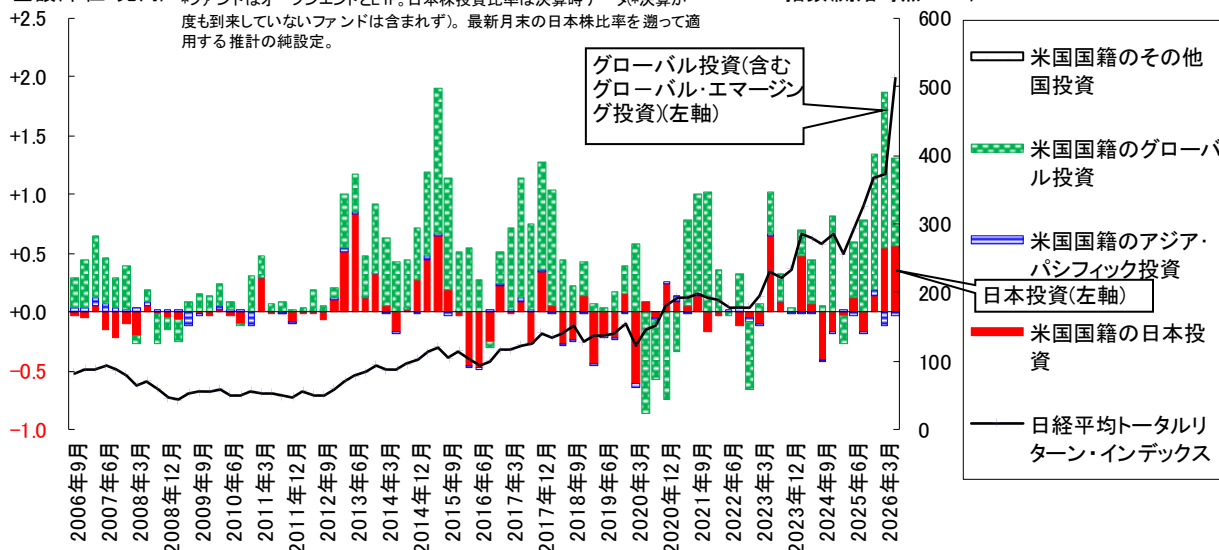


2006年～2026年（四半期、直近2026/2Qは4-6月の値）

金額(単位: 兆円)

*ファンドはオープンエンドとETF。日本株投資比率は決算時データ(*決算が一度も到来していないファンドは含まれず)。最新月末の日本株比率を遡って適用する推計の純設定。

指数(開始時点=100)



(出所: プルームバーク、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mamil-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会